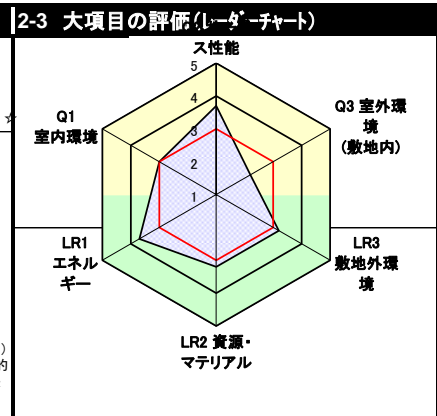
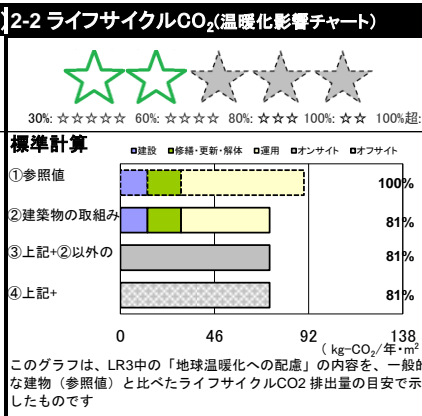
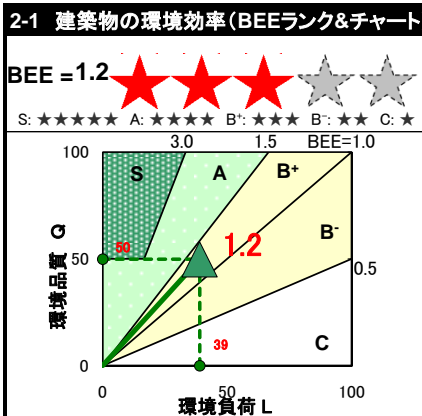


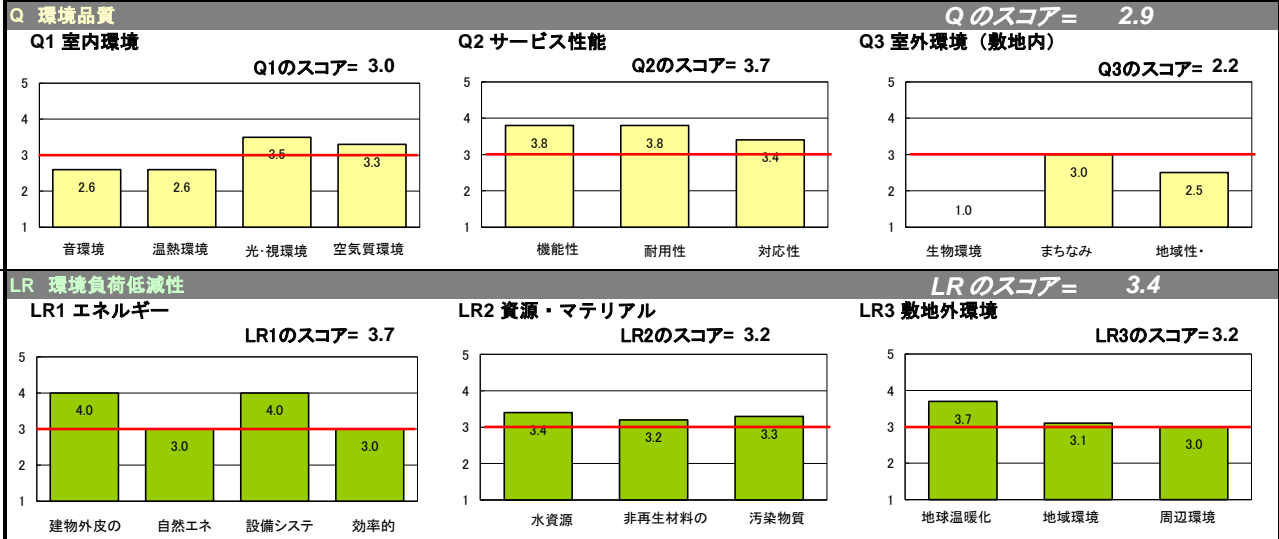
1-1 建物概要

建物名称	座間市新消防庁舎建設工事
建設地	座間市座間大字大坂下地下内
用途地域	市街化調整区域、キャンプ座間返還跡地地域地区地区計画A地区
気候区分	6地域
建物用途	事務所
竣工年	2018年2月 予定
敷地面積	4,798 m ²
建築面積	1,623 m ²
延床面積	4,343 m ²

階数	地上4F
構造	RC造
平均居住人員	100 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2015年11月20日
作成者	(株)田辺設計
確認日	2015年11月21日
確認者	(株)田辺設計



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 ・室内環境、サービス性能に配慮している。 ・緑地を設け、敷地内環境への配慮を行う。 ・高効率設備機器の採用に努めている。 ・交通負荷の抑制など、敷地外環境への配慮を行う。	その他 0
Q1 室内環境 ・高い昼光率の確保に努めている。 ・F☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮している。 ・自然換気の確保に努めている。	Q2 サービス性能 ・高い天井高を確保し、広さ感に配慮している。・防汚性の高い建材の採用で建物の維持管理に配慮している。・耐用年数の長い部品、部材を採用している。・階高、壁長さ比率への配慮を行っている。
LR1 エネルギー ・LED照明等の高効率設備機器を採用している。	LR2 資源・マテリアル ・節水への配慮を行っている。 ・解体時におけるリサイクルを促進する、対策を行っている。 ・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。
	Q3 室外環境 (敷地内) ・緑地を設けている。・利用者の多い動線上には鑑賞性の高い植物をおいている。・展示空間や市民利用のあるホールを設けている。・光庭や見学デッキを設けて、うまく外部空間を取り込んでいる。
	LR3 敷地外環境 ・駐輪、駐車、緊急車両倉庫、消防本部車両倉庫設置、出入り口3か所等、交通負荷の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される